

- 全体の流れがわかる工夫をする。
- 本時のめあてがわかる工夫をする。
- 色や枠や矢印等を用いて、理解しやすい工夫をする。
- 自分の考えを述べることができる工夫をする。

授業の窓

中学校の教科書から

●メモと発言

「そこまで」とべたら」を読んで、自分なりの感想や考えをもったことでしょうか。例えば、次のようなことです。

- (1) そうだったのか。(発見)
 - (2) わたしもそう思う。(同感)
 - (3) それはちがう。(反論)
 - (4) これは大事だ。(注目)
 - (5) ここがよくわからない。(疑問)
- このような、感想や考えの要点をノートにメモしておき、発言の際に役立てましょう。

〔国語I〕光村図書P.三四

メモの工夫

- メモを習慣化する
- 外出する場合にも、常に筆記用具、紙を用意する。
- ささまざまな情報機器（ツール）を活用する。
- 新聞等から必要な記事をコピーする。
- メモした後の工夫
- 同じ内容ごとに集めて情報ごとのまとめ（メタ情報）を作る。
- 時々見返して、使えるメモとそうでないものを分ける。
- 授業でのメモの学習の手順
- 一分間程度のスピーチについて、全員でメモを取る。
- 相互にメモを交換して内容をチェックする。

考えてみよう

テレビの番組の内容を、メモを取りながら聞いてみよう。

【例】NHK番組の一部から
向井千秋さん宇宙に行く
スペースシャトルからの見た地球
青く澄んでいる
限りなく美しい
無重力状態は楽しい
初めての時の印象
今回の印象
宇宙飛行士になろうとした動機

日本の子供たちへのメッセージ
短歌の上の句に下の句を付けてほしい
○ 宙返り 何度もできる 無重力 …

■ 三分間スピーチを聞きながらメモを取り、内容について互いに確認してみよう。



■ 参考例 (簡単な図などを用いたメモの例)

